

## 校長室だより(No20)

R05/1/10

新年あけましておめでとうございます。いよいよ2023年  
がスタートをしました。

この冬休み中も、活動する子どもたちの姿がありました。

新聞報道でもあったように、12月26日には「いじめ防止  
サミット」に本校の児童会役員が参加をしました。日頃の  
あいさつ運動や人権週間の取組等をはじめ、「周りも笑顔、  
自分も笑顔」になれるように、そんな川内北小学校にして  
いくための取組を紹介しました。また、他校の活動を視聴  
し、「自分の学校にも取り入れられないか」など、自分た  
ちの考えを発表することができました。

また、1月8日には、阿波銀ホールで行われた「アンサンブルコンテスト」に本校の合唱  
部が出場しました。これから出会うであろうことに前向きに取り組んでいこうという歌詞  
に、自分たちの思いをのせて、大勢の前で練習してきた歌声を披露することができました。  
「ちょっと緊張したけど楽しかったよ。」と子どもたちからも感想が聞かれました。これ  
からも「唇に歌を、心に太陽を」という思いをもって、活動を続けて欲しいと願っていま  
す。



さて、新年にあたり、始業式で3つの願いを子どもたちに話をしました。

### ● 「自分の命 自分の健康は 自分で守る」

- ・ 新型コロナやインフルエンザの感染予防は引き続き必要なこと。
- ・ ウイルスを体に入れない、入ってきても負けない体づくりを続けること
- ・ 体がしんどいときは無理をせず、早目に家で体を休めること。
- ・ かかってしまった人に対して、登校できるようになるまで温かく見守ること。  
決して相手がつらくなるような言動は行わないこと。
- ・ 特に6年生は修学旅行を控えているので、家庭内感染防止を含め、体調管理には  
十分に気をつけること。

### ● 「何事にも めあてをもって 取り組む」

- ・ 新年のめあてをたてること。「大きな夢」でもいいし、「小さな目標」でもよいこと。  
目標は「できるかな、できないかな」くらいがよいこと。
- ・ 目標は途中で変えてもかまわないこと。声に出したり紙に書いたりして「目標をた  
てる」こと、不安がらずに「やってみる」こと、少しの時間でもいいから必ず「ふ  
り返る」こと。この習慣をつけることが「自信」や「チャレンジする気持ち」につ  
ながること。

### ● 「人や自分に 『ありがとう』 が言えるように」

- ・ 学校やお家で、地域の中で、私たちはたくさんの人のお世話や支え(による行為)に  
よって生活ができていくこと。
- ・ 行為をしている方は「子どもたちのため」と思って行っていること。
- ・ 行為に対してみんなは「してもらってあたりまえ」？それとも「ありがとう」の気  
持？どちらの態度をとっているのか、振り返ってもらいたいこと。
- ・ 「周りも自分も笑顔」になるためには、「ありがとう」の言葉を広げていくことが大  
切であること。そんな言葉が飛び交う学校や社会は居心地がよく、そんな空間をみ  
んなの力でつくってほしいということ。
- ・ がんばっている自分の心や体に「ありがとう」と感謝の言葉を言ってみること。

2023年も「元気・やる気・笑顔いっぱい」の学校づくりに努めてまいりますので、本校  
教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。